

# 伝言板

No.29(H30.4)



NPO 法人 北海道みなとの文化振興機構

## もくじ

「第15回理事会・通常総会」……………	1	「着ぐるみ貸付事業」の紹介……………	7
「みなとパネル展」……………	3	平成30年度 役員・事務局・支部体制……………	8
「第14回 みなと座談会」……………	4	第11回みなとオアシス	
「みなとまち活性化イベントの助成事業」の募集…	7	「Sea級グルメ全国大会 in もんべつ」の開催……	8

## 「第15回理事会・通常総会」

第15回理事会・通常総会は、平成30年2月22日(木)北海道立道民活動センター(かでの2.7)で開催しました。理事会は定数12名の内、出席者8名(書面表決者4名)、通常総会の出席者は、個人会員158名、団体会員62団体の内、委任状提出者を含めて205名が出席しております。会場には、82名が出席していただきました。

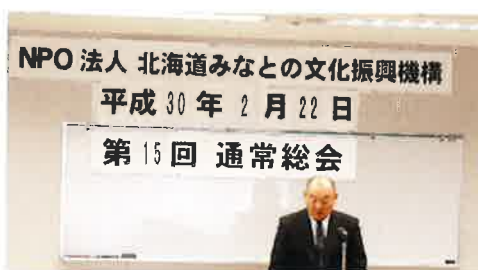
通常総会に先立ち、栗林定正会長から「日ごろより、わたくしどもの事業活動、事業運営に深いご理解と、ご協力をいただいていますことを厚くお礼申し上げます。

会員の皆さま方には、平成29年度事業の、みなとサポート事業の実施に際し、全道各地で開催されましたみなと見学会や舟漕ぎ大会など、みなとを中心とする多くのイベントを始め、防災エキスパート支援など、各種の事業活動にご協力をいただいております。厚くお礼申し上げます。

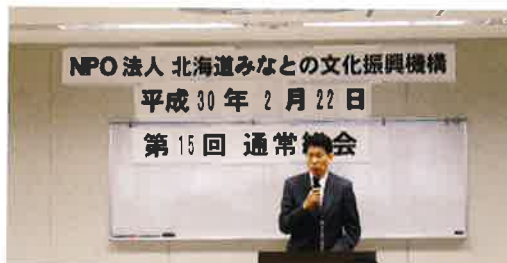
当機構は、全道各地のみなとまちでみなとを核とした、まちづくりに取り組んでいる事業内容など、多方面から注目されています。また一方では、おおいに期待されている部分もございます。



理事会



会長挨拶



来賓挨拶



総会

これからもさらに真摯な気持ちで、事業活動に取り組んで行く所存でございます。皆さま方からのご支援、ご協力を宜しく申し上げます」と挨拶がありました。

ご来賓として出席していただきました、北海道開発局港湾空港部長眞田仁様からは「NPO 法人北海道みなとの文化振興機構会員の皆さまには、1年間を通じて北海道のみなとまちづくりに係わる様々なイベント企画に積極的に参加していただき、北海道のみなとを核とした文化振興に多大な貢献をされていることに感謝申し上げます、敬意を表するところでございます。

最近では特に港湾局でも防災という観点に力を入れていく動きがあります。防災エキスパートの研修会がごございますように、防災面でこれからも皆さまのご活動の場があるのではないかと、実際にはない方がよろしいかと思いますが、そう言う事前の備えというのはしっかりとしないといけないかと思っています。

今年は、8月25日、26日に紋別港でSea級グルメ全国大会がごございます。平成25年に苫小牧港でSea級グルメ大会が開催されていますが、それよりも増して大盛況になるように皆さまのお力をお借りして成功裡に収めたいと思っていますので、その節はよろしく申し上げます。」と挨拶をいただきました。

議案の内容について下記のとおり承認されました。

### 第1号議案（平成29年度事業報告）

- 1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援
  - (1)みなとサポート業務  
みなと見学会 5港（9日間）、みんなのパネル展 3港（4日間）
  - (2)みなとパネル展  
平成29年11月7日（火）「ザ・シンポジウムみなと in 留萌」の開催に協賛して留萌中央公民館で開催。
  - (3)広報誌「伝言板」の発刊  
27号を平成29年4月、28号を平成29年11月に発刊
  - (4)着ぐるみ（「ぼーとん」くん・「べいくりん」ちゃん）貸付事業（有償）  
イベントなどで11件の利用
  - (5)記念グッズの配布（無償）  
ノート、ボールペン&マーカー、着ぐるみシールを16箇所に配布
- 2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援
  - (1)防災エキスパート支援  
平成29年10月4日（水）北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）研修（26名参加）  
平成29年6月17日（土）広域連携防災訓練（釧路港東港区岸壁-9m（耐震））（6名参加）  
平成29年9月13日（水）港湾関係災害復旧事業担当者会議（22名参加）  
平成29年11月21日（火）防災エキスパート情報伝達訓練（総合防災訓練）
- 3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集
  - (1)みなと座談会  
平成29年10月19日（木）室蘭市で開催（北海道女性ネットワーク会員12名、行政関係者12名、当機構9名参加）
  - (2)ネットワーク強化  
平成29年6月15日（木）当機構の支部長会議（20名参加）
  - (3)情報収集
- 4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業
  - (1)助成活動  
平成29年度は一般分10事業、特定分6事業に助成

### 第2号議案（平成29年度収支決算報告並びに監査報告）

### 第3号議案（平成30年度事業計画）

- 1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援
  - (1)みなとサポート業務
  - (2)みなとパネル展
  - (3)広報誌「伝言板」の発刊、ホームページの充実
  - (4)着ぐるみ貸付事業（有償）
  - (5)記念グッズの配布（無償）



- 2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援
  - (1)防災エキスパート支援
- 3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集
  - (1)みなと座談会
  - (2)ネットワーク強化
- 4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業
  - (1)助成活動



#### 第4号議案（平成30年度収支予算計画書）

#### 第5号議案（定款の一部変更について）

##### 1 変更理由

特定非営利活動促進法が改定され、平成30年10月1日以降、毎年、「貸借対照表」の公告を行うことが義務づけられ、公告方法を定款に定めることが必要となりました。

このため、貸借対照表の公告方法を当法人のホームページに掲載することとし、これに伴い「定款 第9章 第55条」を下記のとおり変更しました。

##### 2 定款の一部変更

（変更前）

第9章 公告の方法

（公告の方法）

第55条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示して行う。

（変更後）

第9章 公告の方法

第55条 この法人の公告は、この法人のホームページに掲載して行う。



特別報告

#### 特別報告

通常総会終了後、当機構中村理事長から「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」との協同活動についてと題して報告がありました。パワーポイントを使用して、当機構との協同活動や北海道みなとづくり女性ネットワークの各地域の活動概要について紹介がありました。

## 「みなとパネル展」

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構は、一般市民に「みなとの役割、暮らしとの関わり合い」を広く理解していただくため、毎年「ザ・シンポジウムみなと（ザ・シンポジウムみなと実行委員会）」の開催に協賛し、実行委員会の支援を得て「みなとパネル展」を企画、開催しています。

平成29年度の「ザ・シンポジウムみなと in 留萌」は、「開港80周年～留萌港の未来を考える～」をテーマに平成29年11月7日（火）午後から留萌市中央公民館で開催されました。

パネル展開催は、公民館1階のフロアで留萌開発建設部のパネル展に併設されたコーナーでの同時展示となり、シンポジウムに参加された250名の方々に見ていただきました。

パネル展の内容は、当機構から「NPO 活動状況の紹介と設立までの経緯」のパネル2枚、「北海道の港湾整備状況」のパネル12枚を展示。留萌開発建設部からは「留萌港の歴史、利用状況」「留萌港の今昔物語」など全50枚が展示されました。

今回のパネル展開催にあたり、北海道開発局港湾空港部、留萌開発建設部、留萌港湾事務所の皆様のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。



# 「第14回 みなと座談会」

当機構は平成16年度からみなとまちの地域づくりについて考える「みなと座談会」を、女性の視点から考え活動している「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」と共催し、各地域で意見交換会を開催しています。

1回目の函館市から始まり、釧路、室蘭、稚内、広尾、留萌、苫小牧、函館、室蘭、紋別、釧路、札幌、稚内、平成29年度の第14回は室蘭市で10月19日木曜日16時から室蘭プリンスホテルで開催しました。

## 座談会テーマ

昨年に引き続き「わくわくするみなとまちづくり」をテーマに、全道各地で活躍されている女性ネットワークから、平成29年度の活動について報告していただき、室蘭市、北海道開発局港湾空港部、室蘭開発建設部の行政参加者を交え、「地域のみなとまちづくりの課題」、「女性ネットワーク組織の継続」などについて意見交換をしました。

## 座談会参加者

司会

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構

理事長 中村 信之

北海道みなとまちづくり女性ネットワーク

北海道みなとまちづくり女性ネットワーク会長

女性みなと街づくり苫小牧 代表 大西 育子

みなとまちづくり女性ネットワーク室蘭

代表 立野 了子

石岡 俊子

名和 暢子

畦田 曜子

山田 京香

木谷 候子

みなとまちづくり女性ネットワーク函館

代表 折谷久美子

みなとまちづくり女性ネットワーク・オホーツク

代表 竹内 珠巳

釧路港おもてなし倶楽部

実行委員長 金子ゆかり

稚内のみなとを考える女性ネットワーク

代表 岩本 明子

NPO 法人マリンネットワーク

理事長 片石 温美

行政機関

室蘭市 副市長 東平 伸

北海道開発局港湾空港部港湾計画課

課長補佐 古屋 武志

北海道開発局港湾空港部港湾計画課

港湾物流専門官 大山 裕司

北海道開発局港湾空港部港湾計画課

開発専門職 伊藤 卓也

室蘭開発建設部

次長（港湾・農業・水産） 根本 任宏

室蘭開発建設部 築港課長 井本 丈博

室蘭開発建設部築港課

上席築港専門官（港湾） 岩田 真

室蘭開発建設部室蘭港湾事務所

所長 中村 篤

室蘭開発建設部室蘭港湾事務所

技術副所長 新田 康二

室蘭開発建設部室蘭港湾事務所

第1工務課長 岡本 節雄

室蘭開発建設部室蘭港湾事務所

第1工務課 計画係長 菅原 吉浩

室蘭開発建設部室蘭港湾事務所

第1工務課 計画係員 亀尾 実愛

事務局

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構

福岡 康宣 外7名

## 座談会概要

始めに、主催者を代表して当機構中村信之理事長から、みなと座談会の趣旨と北海道みなとまちづくり女性ネットワークの熱心な取り組みへの敬意と、今開催にあたり協力していただいた女性ネットワー

ク室蘭に対してお礼の挨拶がありました。

来賓者挨拶として、室蘭市副市長の東平伸様から、「みなとまちづくりに熱い思いで活動されている女性ネットワークの皆様の意見を今後の行政に生かして行きたい。また、この4月に国土交通省から出向してきました」と自己紹介を兼ねて挨拶をいただきました。続いて室蘭開発建設部を代表して次長の根本任宏様から、「女性ネットワークの活動に工夫とアイデアを出していただいております。これらの活動を参考に今後のみなとづくりに役立てて行きたい」と挨拶をいただき、引き続き中村理事長の司会により本座談会に入りました。

各地域の女性ネットワーク代表から平成29年度の代表的な活動内容を報告していただきました。

始めに苫小牧の大西代表から、8月11日に苫小牧港北ふ頭緑地（通称キラキラ公園）で開催した「みなとコンサート&防災セミナー」について報告がありました。野外で初めての取り組みでしたので、当日の天候、観客数を心配しましたが、天候にも恵まれ観客も約300名が参加してくれました。初回としては成功したと思っております。当初計画は年3回としていましたが、予算、スタッフ数などの関係で2回となり、2回目は、年始の旅客船寄港時に実施する予定です。会員は15名で、実働は7名程度です。

室蘭の立野代表からは、7月12日にエンルム室蘭で開催した「海の日チェンバロコンサート」の報告がありました。チェンバロコンサートは2回目ですが、今回は有料で開催しました。有料での開催は初めてでしたが、約100名が参加してくれました。費用も若干の黒字でホッとしたところです。また、組織の強化、充実を図るため、代表外、副代表、事務局長、会計長を設置しました。特に事務局長は20代です。会員は4名増え17名で、実働は10名程度です。

函館の折谷代表からは、8月15日に函館市国際海洋センター内で、海の日記念イベントとして開催した「親子いかめしつくり教室」の報告がありました。

パンフレットを作成して募集、18組の親子約50名が参加してくれました。今年はイカの量が少なく値段も高いので、当日新鮮なイカを確保できるか非

常に心配しました。今回は、4名のイカマイスターが講師として、イカ120パイを下処理から始めました。つくり終わったいかめしは、参加者全員でいただきました。参加者の小学生は、いかめしはおばあちゃんが作る物、お店で買って食べる物と思っていました。また、生イカを下処理したのは初めての経験という若いお母さんも参加してくれました。会員は11名で実働は5～6名です。

紋別の竹内代表からは、10月14日、15日に富山県魚津市で開催された「第10回Sea級グルメ全国大会 in 魚津」に参加した報告がありました。今年は、ホタテみそ焼うどんをメインに昨年と同様1,000食以上を売り上げました。魚津へは、飛行機から新幹線の乗り継ぎと長時間の移動で大変でしたが、紋別の特産品売り込みは成功したと思います。大会前日の総会で、平成30年度Sea級グルメ全国大会は紋別市開催に決定しましたと最大級の報告がありました。開催日は8月25日、26日ですので、北海道みなとまちづくり女性ネットワークの参加を期待していますと、声掛けがありました。

釧路の金子実行委員長からは、釧路港に寄港する旅客船への「おもてなし」の活動について報告がありました。釧路の美味しいものでおもてなしを企画して、「すけそうたら」と地域生産の「牛乳」を使った「ポタージュ」をふるまうことにしました。9月12日の旅客船寄港に合わせ準備しましたが、当日台風の影響で抜港となってしまいました。スープ、食材はすぐに冷凍保存し9月18日へ持ち越すこととしました。何の呪いか、当日はまたも台風の影響により抜港となり中止となりました。でも諦める訳に行きません、10月10日の寒い日でしたが縮小版おもてなしに再挑戦、温かいポタージュは好評でした。

稚内の岩本代表からは、稚内港北防波堤ドームで開催した「第15回WAKKANAIみなとコンサート」について報告がありました。参加は一般募集で披露機会の少ない中学生、高校生、一般団体などを優先的に選出し、午後3時から9時までに、お楽しみ抽選会をはさみ、11チームが歌や踊りを披露してくれました。今回も物販屋台を出店しましたが、ブースの準備、組立に思わぬトラブルが発生して大変でしたが、次回に向けての反省点となりました。

6月23日に女性ネットワークが稚内市から「港にかかわる協力団体」1号に認定されました。大変嬉しいことです。会員は6名で頑張っています。

マリンネットワーク片石理事長からは、北海道みなとまちづくり女性ネットワークの立ち上げから皆様と係らせていただき、楽しい活動をさせていただきました。また、報告を聞いていますと、地域の特徴を生かした活動を発展、継続させている様子が良くわかりました。

女性ネットワーク室蘭の参加者からは、昔の元気な室蘭港の街並みが忘れられません。夫が海釣り好きで海、港に興味を持ち入会しました。地元行政からの支援がもう少しあれば活動の幅が広がるなど、それぞれの思いを述べてくれました。

行政の参加者からは、各地域の女性ネットワークが、開発行政の手の届かないみなとまちづくりを、地域の特徴を活かしながら、15年の長い間活動を継続して盛り上げてくれていること、Sea級グルメ全国大会に参加すること自体大変な活動であり、他県は男性代表がほとんどの中、北海道は女性が代表としても活躍されて、とても素晴らしいことだとお褒めの言葉をいただきました。

女性ネットワークからは、継続して活動できるのは、各地の女性ネットワークが情報を交換、共有するとともに、全国のマイスターとの交流も役に立っており、今日のみなと座談会は情報交換の一番重要な機会です。各イベントの準備から開催まで、スムーズに事が進まなく苦しい時もありますが、終了後の達成感が次回のやる気を起こさせます。近年各団体からの助成が多くなり資金面でも助かっています。行政の協力も年々増加していて、資料作成の指導など助かっています。また、会員の世代交代をスムーズにして行くことが重要などの意見がありました。

最後に司会者から、今後も継続して行くためには、身の丈に合ったネットワークの目標、会員各自の目標をもって活動を続けることが重要との挨拶があり、2時間の座談会を終了しました。

翌日は、北海道みなとまちづくり女性ネットワークの総会を午前9時から開催しました。終了後、室蘭港湾事務所の港湾業務艇で、室蘭港の港湾施設および利用状況を視察しました。



みなと座談会



総会

# 「みなとまち活性化イベントの助成事業」の募集

## 助成事業募集要領

### (1)応募要件

道内でみなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等において、平成30年度に実施予定の本助成を希望する事業とする。

### (2)募集期間および応募方法

募集期間は平成30年4月2日(月)から5月7日(月)までとし、助成を希望する団体は必要事項を記入の上、応募様式を提出する。

### (3)助成金額

1件当たり助成金額は15万円を限度とし、みなとの活性化の効果が大きいと考えられる数件を選定する。

### (4)評価審査委員会の設置

応募された助成希望の事業について、審査を行う機関として設置する。

評価審査委員会は当NPO法人理事長の指名により構成する。

評価審査委員会の事務は当NPO法人事務局が行

う。

評価審査委員会は平成30年5月中旬に開催し、助成を希望する事業について審査し、採択する。

審査結果については、5月下旬に郵送で通知する。また、当NPO法人のホームページ上で公表する。

### (5)助成金の支払い

助成金については、助成を受ける団体等に対し、イベント等の開催の2週間前までに支払う。

### (6)助成を受ける団体の義務

活動を実施するにあたって、「NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成」をうけている旨を明示すること。

### (7)報告

実施結果については、実施後速やかに報告様式により提出すること。実施写真を2枚以上添付すること。

### (8)応募様式及び報告様式

当NPO法人ホームページを参照願います。

## 「着ぐるみ貸付事業」の紹介 (みなとのマスコット「ぽーとん」くん、「べいくりん」ちゃん)

北海道のみなとのキャラクター「ぽーとん」くん、「べいくりん」ちゃんの着ぐるみは、みなとが担う役割をおおくの皆様にご理解いただくとともに、海やみなとに集う皆様が楽しく過ごしていただくお手伝いキャラクターとして制作しました。海の上を自由に謳歌するかもめを題材に「小さな赤ちゃんかもめ」をイメージした可愛い着ぐるみです。

平成11年に1号を制作し、好評を得たことから2号、3号と制作、平成25年に4号を制作、現在4組を保有し皆様にご利用いただいております。

「ぽーとん」くん、「べいくりん」ちゃんは、NPO法人北海道みなとの文化振興機構が商標登録を行っ

ております。尚、着ぐるみは、有料とさせていただいております。





## ■平成30年度 役員・事務局・支部体制

平成30年度「特定非営利法人北海道みなとの文化振興機構」役員・事務局・支部体制について

役員				事務局				支部	
役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	(敬称略)	
会長	栗林 定正	理事	小泉 信男	事務局長	福岡 康宣	事務局次長	岸 哲也	札幌支部長	石島 隆司
理事長	中村 信之	理事	川合 紀章	事務局次長	毛利 照男	事務局次長	秋葉 洋一	札幌支部次長	澤合 英治
理事	岩倉 博文	理事	大西 育子	事務局次長	渡辺 修司	事務局次長	高田 稔年	函館支部長	高森 孝紀
理事	宮崎 英樹	理事	片石 温美	事務局次長	東 志郎	事務局次長	齊藤 賢悦	函館支部次長	阿部 俊六
理事	高橋 喜一	理事	福岡 康宣	事務局次長	市来 隆	事務局次長	大前 豊	室蘭支部長	中野 克彦
理事	上原 泰正	監事	吉本 靖俊	事務局次長	渡部 優	事務局次長	柿崎 永己	苫小牧支部長	小山 良明
理事	百瀬 治	監事	柳田 秀吉	事務局次長	三原 一憲	事務局次長	松崎 重貫	苫小牧支部次長	秋葉 洋一
								釧路支部長	平山 裕義
								釧路支部次長	本間 久雄

## ■第11回みなとオアシス「Sea 級グルメ全国大会 in もんべつ」の開催

「みなとオアシス全国大会」の一環として、グルメイベント「Sea 級グルメ全国大会」が年1回開催されています。

みなとオアシスが位置する地元のみなとで水揚げされた海産物や、みなとオアシスの背後地域で産地消費される名産品を用いてつくられ、「ぜひ多くの人に味わってほしい」と自信を持ってオススメできる飲食物で、飲食物にはなにかの“Sea(海)”の要素を含むことが必要です。道内では平成13年の苫小牧開催に続き2回目となります。

全国のみなとオアシスから、自慢のグルメが紋別に大集合、来場者の投票によって、その年のSea 級グルメ No1 が決定します。

開催日：平成30年8月25日(土)、26日(日) 会場：紋別市海洋公園



### 事務局連絡方法

当機構事務局への連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel : 011-727-3710 Fax : 011-727-3710 E-mail : bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこと場合がございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

### 特定非営利活動法人

## 北海道みなとの文化振興機構

〒001-0011 札幌市北区北11条西2丁目2番17号  
セントラル札幌北ビル5F